水のチカラで発泡する硬質ウレタンフォーム

NIPPON AQUA アクアフォーム

建築物断熱用硬質ウレタンフォームA種3

みんなで止めよう温暖化
まずは日本の住宅から
チャレンジ25

アクアフォームって何？

通常はフロンガスを使用して発泡させることが多い発泡ウレタン。アクアフォームは水の力を利用して現場で発泡させます。
これにより柱と柱の間や、細かい部分にも隙間なく充填することができます。

隙間のない住宅は省エネルギー性能が高く、冷暖房費を節約できます。アクアフォームは消費電力を節約し、CO_2の削減に貢献します。

1. 高い断熱性と気密性

複雑な構造の住宅も現場吹付け発泡だから隙間なく施工できます。また自己接着力によって躯体との間に隙間ができにくく、長期間に亘って優れた気密・断熱性を維持します。

項　目	断熱材品種	熱伝導率 w/mk(kcal/mh℃)	住宅金融支援機構工事仕様書 断熱区分	相当断熱厚み割合
アクアフォーム	建築物断熱用吹付硬質ウレタンフォームA種3	0.034~0.033 (0.029~0.028)	D	100
フェノールフォーム	フェノールフォーム	0.020(0.017)	F	58
繊維系断熱材（グラスウール）	10K	0.050(0.043)	A-2	147
	16K	0.045(0.039)	B	132
	24K	0.038(0.033)	C	112

相当隙間面積C値（cm^2/m^2）
2.0以下※
自己接着力(kPa)
15

※住宅の省エネルギー基準に基づいてアクアフォームを施工した場合

2. シックハウスも安心

また、人への安全性も考慮し、シックハウスなどの原因とされる有害物質、ホルムアルデヒドも発生させません。暮らす人だけでなく施工する人にもやさしい素材です。

3. 換気システムの効率化

隙間から漏れる空気は漏気といいます。建物に隙間が多いと、穴のあいたストローで水を吸っても吸えないように計画的な空気の流れが作れません。高い気密性があって初めて空気の流れができ、計画的な換気が出来るのです。

4. 結露抑制

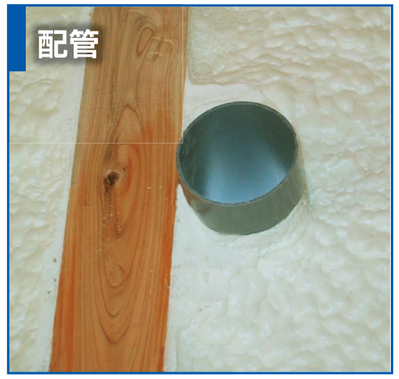
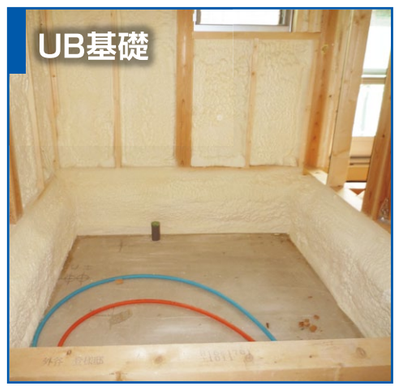
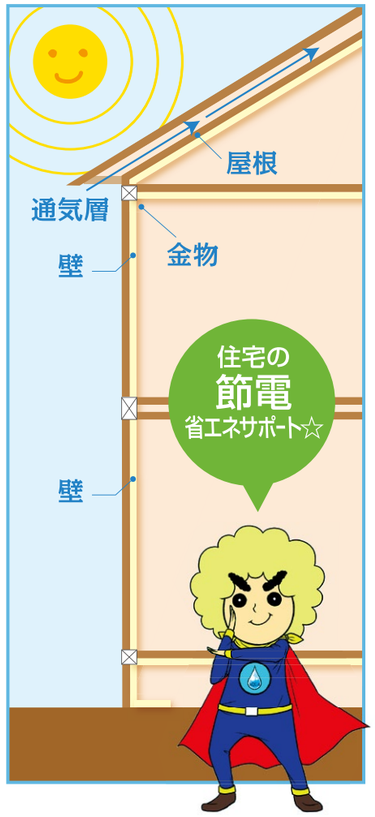
また透湿性も低く断熱材内部に湿気が入りにくいため、躯体内の結露を抑制し、建物の耐久性を高めます。

5. 静かな住空間・吸音性能

アクアフォームの細かな連続気泡構造は吸音性にも優れています。高い気密性により外部の騒音や内側からの生活音の漏れを軽減します。

お得に節電生活!!

具体的に暖冷房費で比較すると旧省エネの1/2以下に抑えられるのです。

※Ⅳ地域120m^2の住宅でエアコン効率をCOP4で計算しております。
※1kw・hあたり約22円で計算しております。(経済産業省の試算に基づく)

施工写真